

Charles François Daubigny

シャルル＝フランソワ・ドービニー (1817～1878)



作品名 オーヴェールの林檎の木(1877年)

種類 エッチング

サイズ 14×23.8cm

略 歴

パリ生まれの風景画家で、バルビゾン派の巨匠である。
自然をありのままに写す作品はブーダンら初期の印象派の態度に近い。
ゴッホ最後の地となった南仏オーヴェール＝シュル＝オワーズの
风光を発見したのも彼であり、銅版画にも優れたものがある。
バルビゾン派 七星の一人